

令和6年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和6年2月6日(火) 18:00～19:27
会場	延出基幹集落センター
自治会名	延出連絡協議会
出席者	<p>【町側】</p> <p>大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、上田保健福祉部長、水谷産業建設部長、藤沢教育部長、中島地域振興部長、渡辺地域振興課長、森多地域振興課長補佐 10人</p> <p>【自治会側】</p> <p>10人(男性8人、女性2人)</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	18:00～ 渡辺地域振興課長
自治会長挨拶	お集まりいただきまして、ありがとうございます。また、町長さんをはじめ、職員の皆さんには大変お疲れのところ、ありがとうございます。今日はよろしくお願いいたします。
町長挨拶	大野町長挨拶
資料説明 上田保健福祉部長	・東静内郵便局、本桐郵便局での住民票等証明書の交付サービス終了について
質疑	特になし
意見交換 自治会員A ・防災について 柴田総務部長	<p>18:07～</p> <p>今、町長さんの話(挨拶)の中から、災害のことが出たので、災害のことでお聞きしたい。災害が起きた時に、恐らく、町としては、災害用の備蓄品がどこかに集められているのかなと思うんですが、我々は見ただけではないです。それがどこにあって、どういうふう到我々の地区に分配されるのか。</p> <p>今の能登を見ていると、後手後手に回っているように見えるんですよ。北海道もいつ起きかわからないという予測が出されているので、その辺はどうなっているのかお聞きしたいです。</p> <p>総務部長の柴田と申します。</p> <p>防災担当ということで、今のご質問にお答えさせていただきます。</p> <p>まず備蓄品のお話ですけども、保管場所を申し上げますと、三石地区につきましては、三石中学校横に防災倉庫がございまして、そこに食料ですとか、飲料水、衛生用品、トイレ等々、発電機も含めて一定数の備蓄をしております。実際それを</p>

	<p>どう使うかということにつきましては、恐らく災害の規模ですとか、どの地区にどれぐらいの方が影響を受けているのかという事を情報収集した上で、適切な広さの場所を町が指定することになると思います。例えば、延出地区だけが被害を受けているような状況がもしあれば、恐らくここが避難所になるのかと思いますが、その場合は、ここを避難所として指定して、今は感染対策などいろいろ気を使う時代ですから、間仕切りですとか、段ボールベッドですとか、そういう長期間滞在する環境を整えて、必要な食料等を持ってくるという考えです。</p> <p>我々の想定としましては、一定数の住民が3日間ほど食事ができるような状況を想定しながら用意していますけれども、その想定を超えることというのは多分、今回の能登の地震を見てもあるのだと思います。その場合に備えまして、例えば、静内地区のイオンなど、そういうスーパーマーケット等と連携をとりながら、調達をしながら国や北海道の追加支援を待つというような感じになろうかと思いますが。現状は三石中学校の所に、ある程度の数を備えているということでご理解いただければと思います。</p>
自治会員A	<p>備蓄品が置かれている場所は分かりました。しかし自分たちが70何年間、ここで生きてきて、この道路が冠水して車が走れなくなった状態が何度かあります。その状態のときに、例えば津波だったら、一気に川を押し上げてくるだろう。それから、雨災害だったら牧野の方からの水の量はすごく多いです。そこを車で運搬すると言ったら運搬できない状態になると思うんですよね。だったら、各地区にといますが、もう少し考えられないでしょうか。</p>
柴田総務部長	<p>おっしゃられることはよく分かります。他の地区でも一部備蓄品を各地区に分散をして置いてくれないかという声もいただいたこともございます。ただ、実際に何が起きたときに、恐らく対応できるスタッフの数も限りがございますし、我々として、被災しないとは言いきれないところがございますので、やはり、集中して避難ケアに当たることになるだろうと思ってます。そのときに、備蓄品を分散してしまうと、必要な数を回収して回るという作業や時間がかかってしまいますので、そちらのほうがリスクが高いというふうに思っておりますので、1か所に集約した上で、災害対応に当たりたいというのが今の考え方でございます。</p>
自治会員A	<p>災害は我々が考えられないようなことが起きるんだよね。そののどこを、どうこうすれと言う訳ではないんですけども、例えば、消防署にしたって、庁舎にしたって、波でかぶるような場所にあるでしょう。自分達のほうが逃げなきゃなんない格好でしょう。そこら辺をよく加味して、なるべく早い手段を取っていただきたいと思います。以上です。</p>
自治会員B	<p>今災害の質問がずっと出ていたんですが、ちょっと考え方が違うんじゃないかなと思う。スタッフが足りないとか何とかって、実際になったら、役場の職員であろうと誰であろうとみんな被災者なんだよね、だから、避難した人自身がやらなきゃならないという、そういう気持ちや考えでいかなかったら駄目だと。そういう考えを植付けていかなきゃ駄目じゃないかなと私は思います。どうですか。</p>

柴田総務部長	<p>はい、まさにおっしゃるとおりでございます。我々、住民の皆様にお声掛けさせていただいているのは、町でも一定数の備蓄はしてますけども、数にも限りがございますので、皆様ご自身もご自宅に備蓄品をリュックなどにある程度のもを揃えていただきたいというのがお願いベースの呼びかけでございます。</p> <p>もちろん災害が起きた時に、特に今回の能登を見ましても、あれだけ緊急切迫した状態で、公的機能が皆様の下まで届くというのは考えづらいことがございますので、まずはご自分で、身を守る、そして、一定数の備蓄をお持ちいただくのが、安全安心と思っております。とは言え、公的な部分の公助と、自分を守る自助というものが合致しなければ、多くの命は救えないかなという認識でおります。</p>
自治会員B	<p>さっき、スタッフが不足しているとか、あまり人が集まらないとか、それで間に合わないんじゃないかと言ったから、私はこう質問したのであって、被災者も自らやらなきゃならんということなんだよ。だから、例えばここに備蓄品があれば、被災者が動けばいい話で、わざわざ役場の人がこうだということもないし、自治会長だっているんだし、そういう考え方を植付けていかなかったら間に合わないと思います。今回の能登のようになった場合、1月1日に集まる訳ないし、自衛隊員だって、そんなに集まらなかったでしょ。大体2万4千人確保しなきゃならんところ、今現在全国で2万2千人ぐらいしかいないはずですね。そういう意味で言ったのです。</p> <p>そしたら、例えばここで川が氾濫して逃げるとなったらどこへ逃げればいいのか。</p>
柴田総務部長	<p>はい、結論から申しますとそのときの状況によると思います。</p>
自治会員B	<p>だから、最悪の状態での話をしているんです。</p> <p>10年ほど前だったかな、三石川の川の水がいっぱいになって、延出川の川もいっぱい、この裏に用水路が走っているんですが、用水路は全然使ってないけれど、何キロも先から水を集めてここにくる。その結果、この水がはけない。三石川もいっぱいだから。だから●●さんのところに水が流れて出たよね。そういうこともあるんです。だからそういう意味でどこへ逃げればいいのかという話です。</p>
柴田総務部長	<p>繰り返しになりますけども、一口に洪水と申しましても、その時にどこまで水がどの程度来ているのかというのは災害によって違います。その時に、最も適しているところを指定することになるんですけども、今この地区で言いますと、想定しているのは、旧延出小学校と延出生活館を洪水の指定緊急避難場所ということで指定しておりますので、基本的にはこの二つの中で、どちらを開けるかという判断になると思います。もしくは両方とも開けることもあるかと思えます。</p>
自治会員B	<p>それは、旧延出小学校と延出生活館だよ。普段から鍵は自治会長とか、近くの人が預かっているのだろうか。小学校の鍵は誰も預かっていないはずですね。</p>

柴田総務部長	<p>管理人がいる所は管理人さんが持っていると思いますけども、旧延出小学校は管理してる方が持っているものと、役場が持っているものとありますので、そこはどちらかが早く到着した方が開ける形になろうかと思います。</p>
自治会員B	<p>例えば、そういう状況になったら、恐らくこの道路は通れなくなると思います。昭和50何年頃の洪水があった時は、蓬莱山のところが、山から水が来てあそこがストップしたんだよ。通れなかったんです。あの頃、土建屋に働きに行っていて、現場から早く来いと言われてたけれど行けなかったんですよ。</p> <p>役場からも来れない。津波なんかあったら特にそうだよ。そういう時にどっかに鍵とか預かってなかったらと思う。</p> <p>例えば、もう一つ山越えた辺訪川だよ。このところは、しょっちゅういっぱいになっているんだよ。みんな逃げているんだわ。それ分かっていないんじゃないかなと思って。結構最近でも逃げてるはずですよ。</p>
柴田総務部長	<p>おっしゃってることは分かりますけども、極論究極な状況になったときには、恐らく、ガラスを割ってでも入る必要性があれば入るんだと思うんですけどね。一般的には、鍵を持っている人が一刻も早く、現地に到着してあげるのが理想です。</p>
自治会員B	<p>だから、鍵をどっかに預けるといふ考えはないのかい。ちょっとおかしいんじゃないの。</p>
柴田総務部長	<p>保育所でも鍵を保管していらっしゃることなので、複数の手法があるということで、ご理解いただけたらと。</p>
自治会員B	<p>誰も分かってないんだよ。保育所で預かっているということは誰も自治会の人には分かってない。今初めて聞いたよ。</p>
自治会員D	<p>今、自治会でどこの鍵は誰が保管しているのか、仮にその人が来れなかったらどうするのかという次の次まで考えないと、防災は最悪を考える。さっきからその規模に応じて考えると言っているが、それじゃ間に合わない。災害対策は最大の被害を前提にして考えるのが筋道じゃないの。この段階だったらこういうふうを考えますなんて生ぬるいよね。</p>
大野町長	<p>今のお話の中で、川が溢れるという前提でお話しされていますけども、雨の予報はかなり高度になっていまして、溢れてから避難指示を我々出すようなことはないんですよ。ですから、気象庁とも連絡をとりながら、危ない時に、この場所に避難してくださいと我々はアプローチをするわけですよ。その時には、通常はもう鍵を開けていてですね、そこに、来てくださいというアプローチをするんです。</p> <p>今皆さんが頭の中で1番描かれるのは、津波のとき、あれは突然地震が来るので、津波もあつという間に来ますから、その時と大雨の時の対応は違うだろうと思いま</p>

	<p>す。</p> <p>先程、担当部長がお話ししていましたが、本当に避難が必要になればあらかじめ、その段階に応じて皆さんに、ここに避難してくださいというアプローチをしますので、その辺は、そういうアプローチで大丈夫なのかなと思いますけども。</p>
自治会員B	<p>それは甘いね。気象庁の発表っていうのは、こんな小さい辺訪川が氾濫したからって全然発表なんかしないよね。</p> <p>昔ね、三石の街は全く雨は降ってなかったけれど、家に帰ったら流されたとか、いっぱいになっていたという人がいるんだよね。そうだよな、●●さん。実際にそうなんだわ。三石川は何でもない、延出川も大丈夫だけど、辺訪川はそういう事がある。そういうのは気象庁がどうのこうのそんな問題ではないと思う。その地域の山の状態だとか、そこまで気象庁は判断なんかできる訳ないんだ。そういう取って付けたような言い方はやめてくれ。もう少し細かく考えてくれなかったら。危なかったんだから。だからおかしいんじゃないのかなって思ったんです。</p>
大野町長	<p>実際に水に浸かったんですか。ちょっとそのときの様子を教えてくださいませんか。</p>
自治会員C	<p>豊岡に住んでる●●です。何年前に、家のそばに川がありまして、そこが溢れて家が浸かって、いろんなものが流されていきました。その時は、避難場所は決まっていたんですが、私は実家に行きました。</p>
大野町長	<p>それは、広範囲に溢れてきたんですか。何件も溢れたような感じだったんですか。</p>
自治会員C	<p>うちの近くの、●●さんとか、●●さん。</p>
大野町長	<p>ずっと昔から水がつくような地域なんですね。</p>
自治会員C	<p>雨が降ると本当に怖いんですよ。</p>
大野町長	<p>避難するとしたらどこに逃げるような感じになるんですか。ちょっと土地勘が無くて申し訳ない。</p>
自治会員C	<p>豊岡改善センターが今は使えないので、どこに行ったらいいのかなっていう不安はあります。</p>
自治会員B	<p>豊岡改善センターが使えた時は、そこに避難してた。</p>
大野町長	<p>今1番近いところはどの辺になりますか？避難するとしたら。</p>
自治会員B	<p>延出小学校が一番近い。</p>
大野町長	<p>さっき僕がお話ししたのは、大きな川だとか全部水位計がついていますので、い</p>

自治会員A	<p>ろんなことは確認できますけども、そういう小河川のところが来た時に、実際に水が付く地域があるということであれば、小学校のところに入るような仕組みを考える必要がありますよね。そこはちょっと考えます。</p> <p>その鍵の話から含めて、そこはちょっと考えさせていただきます。その地域として、小河川が出てくるというその地形上どうしようもないところです。雨が降った時に、水がみんな集まってきてしまうとこなので、一次的に逃げるところが必要だということなので、ちょっと学校の鍵の話ですとか、そういうものは確認して対処します。</p> <p>ただ、先ほど僕が言ったのは大きな川って言ったらあれですけど、やっぱり天気予報の中で、いろんな推計などを見ながら、いろんな判断をしているんですけども、そういう小河川のところまでは我々の方で確実に抑えることはできません。皆さんから連絡が来た時にはもう遅きに失していると思います。もう川が溢れてきている訳ですから。その時には、自主的にどこかに避難できる場所、それが学校であれば学校に入れるような仕組みというのは作る必要があると思いますので、ちょっと考えさせてください。</p> <p>皆さん言うように、牧野の草地の関係もあって、辺訪川の場合は予測できません。だから、そのところをちょっと加味しておいて下さい。</p>
大野町長	<p>はい、自治会員Aさんでしたよね。よく山のところに草地を作ると水が走る。走っちゃうんですね。浸透するのも浸透するんですけど大体は水が走ってくるので、きっと牧野の影響というのは、恐らくそういう地形になったんだろうというふうに思います。いろんなところで私も過去の経験からいうと、草地造成をすると比較的水が走りやすくなるので、草地造成すればするほど、走りやすくなるので、そこはちょっと危険なところというのは承知していますので、先ほどもお話ししましたが、延出小学校の使い方について、それについてちょっと再確認しまして、またご連絡したいというふうに思います。</p>
自治会員B	<p>この堤防が氾濫するという想定はしているんですか。どうなんでしょう。</p> <p>私が子供の時は堤防がなかったから、ここら辺雨降ったら常に洗い流されておりましたね。</p>
柴田総務部長	<p>防災のハンドブックがご自宅に届いていると思いますが、こちらの方で町としての今の想定ですけども、三石川で言いますと3時間総雨量167mm以上の場合、どこまで水が行くんだろうというシミュレーションをさせていただいております。その中で、避難所となるところが旧延出小と延出生活館、それ以外はリスクが少し高いということで、洪水時の避難所としては指定させていただいてないというような状況でございます。</p>
自治会員B	<p>そしたら、氾濫する想定はしているんだね。そうじゃなかったら、ダムは人工で造ったんだから、決壊しないっていう保証はないからね。その時はもう一面どうもなくなってしまうだろうと思うから。最悪の事態を想定しなかったら駄目だと</p>

<p>柴田総務部長</p>	<p>思います。</p> <p>例えば、今回の能登のような地震があったとして、役場はまずどうするんですか。</p> <p>大きな地震があった時は、役場自体はどういうふうに対処するんですか。三石も静内もそうですけど、津波を想定して逃げるよね。静内も津波かぶるところにあるよね。それで想定して逃げるって、どこに逃げるんですか。</p> <p>自治会員Bさんの想定されている状況がちょっと一致しているかどうか分かりませんが、大きな地震が起きて、例えば大津波警報等が発令されたとなれば、まずは、無線なりメールなり、様々な手段を通じまして皆様に避難を呼びかけます。その時に皆様がどこにいらっしゃるのかは、その日によって違うんでしょうけども、町の方では、ある程度の数の一時避難場所というのをお示ししてございます。そこは、この位置だと、津波をかぶる心配はないと想定されている場所でございます。ただ、現実問題、津波が目の前に押し寄せて来た時に、町で指定した避難場所へとはならないかと思しますので、見える範囲で1番高いところに逃げていただいて、まずは命を守っていただくのが、第一義的かというふうに思っています。その上で、波が引いた後に、町で長期的に避難できる場所用意をして、皆様の受入れをしていくというような形になってございます。</p> <p>ちなみに町の方は、震度4の地震があれば、津波警報にかかわらず、指定した職員が一斉に集合するような仕組みにしております。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>指揮系統をするところを作らなければ駄目ですよ。どこで指揮系統するんですか。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>本部は静内庁舎に</p>
<p>自治会員B</p>	<p>静内庁舎が水かぶるのに、どうやってするんですか。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>静内庁舎の二階三階は想定で大丈夫です。三石庁舎は、恐らく津波となれば難しいので、別な現地本部をつくることになると思います。恐らく中学校ですとか、そういう高台につくることになろうかと思います。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>もうそれはちゃんと用意しているんですか。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>そこは当然、我々職員の対応マニュアルできちんと手順を踏んでおりますけども、実際に、そのときの状況によって臨機応変に変えていく部分も多々あるかと思います。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>消防署と救急車だとかそういうのはどうするんですか。消防署に救急車あるでしょ。三石なんかまともに被るんですがどうするんでしょう。避難とかできるのか。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>緊急度にもよりますよね。波が被らないように車を移動させるっていう手順になるとは思いますけども、それもかなわない程切迫してる時には、もうそこまで行けな</p>

<p>自治会員B</p>	<p>いですよ。</p> <p>まず、大きな地震が来たら、三石もかなり地盤が悪いとこだし、静内も確かあそこも泥炭地ですね。だから、周りの道路が恐らく全部通れなくなると思います。今回の能登の地震のようなものがあつたら、通れなくなると思う。道路に杭を打てきちんとしている訳じゃないし。我々が高校2年のときに、静内高校の2階にいたら大きな地震が来て、身動き取れないことがありましたね。かなり地盤が悪いんだなっていうのを感じておりました。消防署だって救急車だって、逃げようがない、逃げるところはない。どうするんでしょうか。それはどう考えているんだろう。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>行政が行う、いわゆる公助という部分は万能ではありません。今言った、道路も通れない、車も取りに行けなという状況であれば、多分手も足も出ないかと思えます。その上でも、取れる対策を最大限とっていく。まさに今回の能登でもなっているように、国なり北海道なりの支援を待つというような場面が、最悪のケースが出てくると思えます。</p> <p>その全てに100%大丈夫な対策ができていくかという、今、できてはいません。100%というのであれば、全員が、津波浸水区域以外に暮らす以外には難しいことなのかと私は思っています。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>今の役場のはまなすだつて、水をかぶるようなところに建ててしまったんだよね。なぜあんな所に建てたのかなと思いましたよ。あれが、水が被らないところにあつたら、そこできちんとできるのに。</p>
<p>自治会員A</p>	<p>今聞いていて、自治会員Bさんの言うこと良く分かります。それで、これ、いつまでたつても終わらない。</p> <p>被災者の話では、自分の身は、自分で守れ、誰にも頼るなど。一目散に走れという報道がたくさん出てきます。ただ、我々としては、まず、これから起きうる災害に対して万全の対策を取って欲しい、僕はそう思います。</p> <p>で、次のお話をしたいんです。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>どうしたらいいか、これから考えて欲しい。どうするか。できないでは終わらせないんだわ。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>私の言い方が、もうこれ以上何もしないということで聞こえたのであれば、率直に謝ります。我々の現状が完璧だとは先程も言ったとおり、思つてはおりませんので、今後、改善できるところは、どんどん改善していきたい。その時にやっぱり、この地域に暮らす皆様の生の声だったり、情報だったり、そういうことが必要になってくるのかなと思つていますので、是非この地域の中で、災害時にどうしていったらいいだろうか、と考えられるような場を機会として作っていただけるのであれば、我々防災職員も一緒に輪に入れていただいて、今よりも、安全な安心なですね、環境を作っていければと思つておりますので、今、こういうご指摘いただく以上は、</p>

自治会員B	<p>我々の対応が足りない部分が沢山あるんだと認識してございます。その上で、では、どうしていったらいいんだろうというのは、先程の延出小学校の鍵の事も含めてですね、改善できる点はどんどん改善していきたいと思いますので、是非、いろいろな情報をいただけるような機会を与えていただければなと思います。</p> <p>延出小学校に避難するのであれば、あそこは集中暖房で全部暖房しなきゃならない。大きなストーブだとか、区切って、暖房できるように改造するだとか、そういうのを検討して欲しいんですけど。</p>
柴田総務部長	<p>学校については既存暖房が使えないことっていうのは、大いに予測できますので、そこは一定数のポータブルストーブを備蓄しておりまして、それをそちらに運んで、暖を取っていただくような計画で今備蓄をしているところでございます。</p>
自治会員B	<p>よろしくをお願いします。</p>
自治会員D ・学力向上の施策 について	<p>新ひだか町の教育ですね。新ひだか町だけじゃなくて、日高管内、これの偏差値が極端に低いと。最初の段階は、家庭教育が大事なんですけども、町としてやれるのは学校教育ですよね、学校教育の生徒の学力を上げるこれからの施策をどう考えているのかっていうことを聞きたい。</p>
藤沢教育部長	<p>教育部長の藤澤です。</p> <p>私の方から今までの経緯等について併せてご説明させていただきます。</p> <p>新ひだか町の学力は、今おっしゃられたとおり相当低いものがございました。去年今年とですね、いろいろな政策をやって参りました。特に小学校3年生4年生の学力、特に数学等が低い状態だったので、公設塾というのを開いてですね、評価をさせていただいたり、家庭学習月間、メディア対策などを、学校と家庭と、教育委員会とタッグを組みながら推進をさせていただいてるところでございます。</p> <p>その中で、全道平均全国平均から比べると、差はございますが、大分、平均値で縮まってきている状況でございます。これにつきましては、今までやってきたことの効果があると思っておりますが、これで満足せずに、弱いところというのはやはり、いろんな教科や学年によって差がございますので、学校とタッグを組みながら、今後も強化をして参りたいというふうに考えております。やっぱり1番は、学校で習得してきたものを復習していただくというところが、学力向上には1番つながるのかなと今考えてございます。どうしても、人間ですので、今日習得したものを、次の日になったら半分ぐらい忘れる。それが3日経つともっと忘れるという事がありますので、どうしてもやっぱり家庭での学習をやっていただくっていうところを強化していかなければならないかなと思っております。</p> <p>その中で、今やっているのが、学年掛ける10分という形で、家庭学習をやっていただきたいということで、強化をさせていただいているところでございますので、これをもっともっと推進していきたいなというところと、あとうちの町での特徴は、メディア、特にスマホ、ユーチューブを見ている時間が、全道平均全国平均に比べ</p>

<p>自治会員D</p>	<p>てやっぱり高いので、そこの部分もご家庭にご協力をいただきながらですね、なるべく時間を短くして学習する時間を増やしていただくような仕組みを考えていきたいなと思ってございます。</p> <p>分かりました。やっぱり保護者もそうだし、学校の先生もそうだし、地域もそうだし、学力というのはどれだけ大事なのかっていうことも、子供たちに伝えていかないと駄目だと思うんですよ。僕は小さい時に勉強すれ勉強すれって言われても、何が？勉強して何になるの？という疑問。だけど、結局、将来自分がなりたいものになるための勉強だよってことをきちんとね。高校生になった時に、医者になりたいと思っても、はっきり言って、もうそこまでの学力と学習能力が低いと、なかなかいかないんですよ。もうこれはもう本当、頑張ればできるなんていうレベルの話じゃないですか。そういう事も子供達にちゃんと認識させながら、あと先生も、先生のレベルも多分低いんだと思います。これは町が雇ってる先生じゃないから、仕方ないところはあります。小学校の先生と交流するようなことがありまして、そういうことを言うと、学歴じゃないと。人間学歴じゃないよっていう先生を俺は信用しませんから。じゃ、大学行かないで先生になる方法を教えてと言ったけど、分からないですよ。大学行って教育課程をとってからじゃないと先生になれない。じゃ、大学行かないで医者になる方法を教えてと言っても、学歴はやっぱり必要なんですよ。</p> <p>そこを目指さない人にとっては必要じゃないもんですよ。だけど、いつそこを目指したいと思うか子どもが中学で思うかもしれないし、高校卒業して急に思うかもしれない。将来の準備のための勉強なんだということをしっかり、先生が認識を持って、指導していただきたい。</p> <p>学校運営的には、俺はそっちの方は詳しくはないんですけど、秋田県が、相当のレベルじゃないですか。学校教育、仕組みも違いますから、議員さんも含めて、そういうことにお金を使って、ちゃんとした視察をして意見交換をして、こういうへき地のところは、秋田県の学校教育を参考にしてみたらいかがかなという事でこの質問は終わります。</p>
<p>久保田教育長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>教育長の久保田と申します。</p> <p>今、力強い考えを聞かせてもらって、本当にありがたいなと思っております。</p> <p>やっぱり1番今大事なのは、今おっしゃったように学力に対する先生方の意識をやっぱり変えなければと実は思っているんですね。それで、今やり始めているのは、もう2年ぐらいになりますが、小学校と中学校が連携して、同じ考えを持って学力を上げていくという、改革をしています。どちらかと言えば、小学校は小学校、中学校は中学校と、同じ子供を見ているんだけど、やっぱりその学力に対する先生方の考え方が全然違うんですね。むしろ、中学校の先生たちの方が、学力に対してシビアな考えを持ってます。多分高校入試があるからなんだと思っています。そういう意味では、小学校の先生方はちょっとのんびりしてる部分があるので、そう言って先生方が一緒に学力あげる取り組みの中で、考え方を一緒にして、そして、うちの町も子供達の学力を上げようと、そういった取組が今年で2年目になるんで</p>

	<p>すが続けています。</p> <p>また、教える技術というのがすごく大事なので、そこをいかに先生方が引上げていくかということで、かなり研修にも力を入れています。いろんな先生方を呼んで学ぶ機会も多く取っていますし、小学校と中学校の先生方が、今まではなかったんですけど、一緒に研修する場面もあります。最近小学校の先生が中学校へ授業を見に行ったり、中学校の先生が小学校へ行って授業をしたり、そういった取組をしています。</p> <p>学力はかなり上向いて来ています。全国の平均に届かない学校がほとんどだったんですが、今年度辺りの結果を見ますと、小学校も中学校もその平均値に迫るような学校、あるいは超える学校が徐々に出てきていますので、そういった意味では、これからも先生方の意識を含めて変えながら、ちょっとシビアに取り組んで行けたらなと思っておりますので、また色々なご意見を聞かせていただけたらと思います。</p> <p>家庭学習等については、部長の方から詳しくお話ししたので、そういった取組をしていきたいなと思っております。</p> <p>実は前回、議会の方からも、学力向上については提言をいただいております。そこに載せられている内容は殆どうちの町で取り組んでいる内容ばかりです。今後とも、一つ一つの取組をやり切るようにして、学力向上については取り組んで参りたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。</p>
<p>自治会員 E ・延出生活館について</p>	<p>富沢の●●●●です。</p> <p>延出生活館が避難所なのに取壊しの対象になっているはずなんですよね。それはどういうことなのかと思っているのと、3年ほど管理人をやっていたんですけども、除雪の関係で余りにも広いということで、町の方では一切やらないという話をもって辞めました。辞める時に延出生活館から自宅まで150mぐらいの距離でいるので、生活館の管理はしなくても、鍵だけでも預かっていいよという話を持ちかけたんですけども、鍵は役場に持ち帰りますんで、使う時には役場の方に取りに来てください、返してくださいという話だったんですよ。それは、ご存じなんですか。</p>
<p>上田保健福祉部長</p>	<p>保健福祉部長の上田です。</p> <p>今、初めてお話を聞きました。その辺ですね、一旦持ち帰って確認させてください。どんな経緯でそのようになったのかという事を確認します。すいません。</p>
<p>自治会員 E</p>	<p>あと、本桐基幹集落センターが生活館ということで、いずれはここも基幹集落センターから、生活館になる計画があるのかどうか。あと、生活館になった場合、この除雪、管理人に対しての手当で行うのか。今年はたまたま雪が少なくても、除雪代だけで、管理人に対して支払った手当を、全部冬の間に使い果たしてしまうんじゃないかなと思うんですけど、そうなったら管理人を受ける人がなかなかいなくなるような気がするんですよ。誰も受けてくれないということになったら、やっぱり、役場の方に鍵が管理される。こういう暖かい所ですぐ会議が開けなくなるような、地域の人寒いところに来て、暖房の入れ方もわかんないんですけども、</p>

<p>上田保健福祉部長</p>	<p>そこら含めて、お聞きしたいんですけども。</p> <p>色々なところに生活館や、基幹集落センター、集会施設がありますが、施設が老朽化しているところもございますので、その辺につきましては一定の集約をしながら、新しいものを造っていくということで今、少しずつですけども行っています。そういった活動をまず一つしてございます。</p> <p>また、生活館や、会館の管理の方は、基本的には地域の方をお願いしているというところがございますので、生活館と会館はちょっとやり方は違いますが、基本的には地域のほうをお願いしていることですので、鍵を役場の方に返さなくてはならないというのが、どういった形でそうなっているのかわからないんですけど、それを確認させていただきます。</p> <p>基本は、地域のほうに管理をお願いする。ただお金が足りないというのは、申し訳ございません。ちょっと総体の予算がございまして、その中で話になってしましますが、逆に、例年以上に雪がすごいですとか、屋根が飛びそうだとということになりましたら、条件は違いますが、そういった部分につきましては、可能な範囲で対応させていただきたいと思っておりますけども、その鍵の管理の方法につきましては確認をさせていただきたいと思っております。</p>
<p>自治会員E</p>	<p>最後になんですけども、延出生活館も話を聞くと、町の管理になってから年に2回か3回掃除に来ているということで、途中で1回か2回、郷土芸能の保存会で鍵を借りに行ったことがあるんですが、見事に入られるような状態ではないということだけ報告しておきます。</p>
<p>自治会員D ・ふるさと納税について</p>	<p>新ひだか町の今年度のふるさと納税額を教えてくださいんですけど。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>1月末の段階で4億円を超えておまして、昨日確認したところ、4億7,000万ほどのご寄附をいただいております。昨年が2億少々でしたので、1年で倍近くなっているような現状でございます。</p>
<p>自治会員D</p>	<p>新ひだか町としては、納税額が多い方がいいですよ。他の町がどのぐらいか分からないですけども、白糠が140億、80億、網走のほうは180億だったはずなんです。白糠はそれだけあるもんだから、もうやりたい放題ですよ。それこそ教育、医療費は高校生まで無償、大学進学何かいろいろありましたよね。さすがに140億とかまでは言わないですが、10億以上とかを目指すという具合。これははっきり言ってアイデアと、実際、職員なのか、そういうところの人たちのアイデアなのか、もう少し活発にそこら辺を検討して、アピールしていったらどんなものかなと思う。</p> <p>あるところでは、こんなことで納税する人いないだろうという事を考えるんですよ。納税しなくてもいいから、1件200万円納税してくれたらこんなことができますよという、そんなこと無いだろうということまで考えてやっているんですよ。そ</p>

柴田総務部長	<p>ういう気持ちでやって行っていただきたい。これは意見です。お金があればそれこそ、こないだこの病院の云々で町長が病気で欠席したみたいだけど、冒頭説明があるかなあと思ったけどなかったんだけど。そういうことも含めてね、ふるさと納税の増額を目指していただきたいなと思います。</p> <p>我々も、昨年よりも今年、今年よりも来年というつもりで、今、商品開発の力入れておりますし、PRも、10数サイトに掲載しながらPRをしてございます。</p> <p>この地域の弱みが、釧路や根室のように、底なしに魚介類を出せる状況に無いというところもありまして、どうしても一定数行くと打ち止めというような状況がありまして、ニーズがあるけど商品が無いっていう状況が多々発生しております。</p> <p>これは産地の規模の問題もあるので、致し方ない部分もあるんですけども、その辺は工夫でどう乗り切っていくかということで、魅力ある商品を作りながら、今のご提言いただいたように、PRにも力を入れて参りたいと考えております。</p>
自治会員D	<p>馬産地と言っているのだから、馬関連でマニアの人は幾らでも金出しますよ、魅力的な商品は。そこを考えてもよろしいかと思ます。</p>
自治会員B	<p>ふるさと納税の話の関連で、町に入ってくるのはさっき言っておりましたけれど、町から他の市町村へ出ていくふるさと納税ってどのくらいあるんですか。</p>
柴田総務部長	<p>すいません今数字は持ち合わせておりませんが、そんなに多くないとは思いますが、後で連絡させていただきます。</p>
自治会員B	<p>かなりあると思ますよ。調べてそういうのを検討して、もっと、新ひだか町の魅力のあるやり方がないのかなど。</p> <p>それを考えるのが、皆さんだよね。考えていかななくてはならないと思ます。</p>
自治会員F ・三石病院の今後について	<p>富沢の●●です。</p> <p>私ももう80過ぎて後期高齢なんですけど、病院の関係でちょっと説明して欲しいんですけど。三石町立の病院の存続について、ちょっと説明して欲しいんですけど。</p>
上田保健福祉部長	<p>三石国保病院でございますけども、これまで何回か機会をいただいてご説明してございます。町立病院集中改革プランというところで令和9年度までの計画の中で、静内病院を含めて収支改善を図っていくという中で、これから、働く人もどんどん減ってしまう中で、どうしたら医療提供体制を維持できるのかという考えでございます。</p> <p>その中で三石国保病院につきましては、入院病床を静内病院の方に移しまして、三石病院につきましては外来に特化した病院に移っていくという考えでございます。</p> <p>外来を中心に診療しまして、その中で、訪問診療ですとか、訪問看護ですとか、そういった病院から出て、在宅の方に広げていくという考えもでございます。</p> <p>高齢化率が高くなってきてございますので、病院に通えない方が実際に出てきて</p>

	<p>ございます。そういった方は、強制的に訪問するものではありませんが、ドクターとお話ししながら、希望があれば、自宅の方に先生が赴くという診療体制をとっていきたくと考えてございます。新しい病院につきましては、令和8年度末までに完成しまして、今の病院をどこに建てたらいいんだというところで、民間の方々も入った選定委員会があり、その中で、どここの場所がいいんじゃないかという検討をさせていただいております。そういった検討結果をいただきながら、こういったところにこういった規模の病院が建てられるかというようなことを、これから考えていながら、令和8年度末までに完成をして、令和9年度からは、新しい体制で医療を提供していくという考えでございます。</p>
<p>自治会員A ・畑地化の今後について</p>	<p>今、農地が畑地化されて、あと何年かで奨励金も無くなって、耕作する人もいなくなって、空き家が出てきて、どうしようかと自分たちでも考えてはいるんですけど、なかなか再生というか、他から来てもらって、やってくれる人は、いないような気がするんです。</p> <p>一部分自分でも見た土地なんですけども、もう柳でいっぱい、そこは鹿の巣になっています。その近くに果樹園でも作ろうかと思っても、鹿の被害にあって、何も作れる状態にないんですよね。これをどうこうすれと言っても、考え方でいろいろあると思うんですけども、少しでも、我々が育った、三石、それから山の里だとか、それから静内の里だとか、そういうとこを何かで生かしていけるっていうような、何か、考えを深めていって欲しいっていう感じなんですよ。</p> <p>自分たちの孫が大きくなった時に、すっかり荒地では、何かかわいそうな気がします。これはお願いします。</p>
<p>自治会員D ・病院の建設場所について</p>	<p>もし病院を建てるなら、さっき防災のこと言ったんで、浜とか、津波とかが来るようなところは、そこは駄目だよと、防災的に駄目だということは頭に入れてください。三石の街でいっちゃうと、津波とか来たら一発でいっちゃうので、それだったら中学校の上であるとか、もう本当こっちのほうに来るとか、それは決める人達を取りあえず話し合っただけでやるんでしょけど、そこは押さえておいてください。</p>
<p>自治会員D ・共済組合の獣医について</p>	<p>町政とは関係ないですが、今、家畜共済組合が全道1本になったんですよね。令和7年度から獣医の全道異動が始まってですね、全道異動の中で、地域限定獣医と、全道を回ってもいいですよという獣医の働き方というか、雇用形態がむちゃくちゃになっていて、多分これになったら共済組合から獣医が全道的になくなります。結構な人数が多分なくなるかもしれません。獣医ですら危機感を持ってもう辞めている人もいますから。</p> <p>ということは、全道の畜産地域ありますよね、これもう結構被害を受けていて、多分この話は、自治体はまだそんなに把握してないと思います。できれば、市町村長会などでこういうのを議題に上げて、行政が共済組合に言う権利はないですけども、獣医がいないと、畜産産業が成り立ちません。そのことを、北海道なりに言っていただきたい。これじゃ全道の畜産を支えてくれる獣医さんは、未だに数少ないですから。そういうことも話し合っただけでいいのと、8日に本桐生活</p>

	<p>館で、共済の地域懇談会が午前10時からあります。町の部長課長クラスが行って、どういう状況なのか、どうなっているのかということ把握して欲しい。共済組合の方に行って、職員の待遇がどうなっているのかなども把握だけしてください。それじゃないと、ちょっと後の祭りになったら本当に大変ですよ。一次産業を支えてくれる獣医さんがいなかったら成り立ちませんから。すいませんけどそれお願いします。</p>
水谷産業建設部長	<p>産業建設部長の水谷です。 農業畜産業を担当し、私の方からもお答えいたします。 町内の獣医さんが少ない状況で充実してないことは承知しております。今後もそういった動きがあるというような情報も聞きながら、8日に共済会議があるという事でしたが、もしそういったところに参加できるのであれば私だとか課長がお話を聞くことは可能ですし、その会議に参加できないようであれば、共済組合の方に向いて情報収集しながら、今後の一次産業というか畜産業を支えていく、獣医さんを維持していく方法について前向きに考えて行きたいと思います。</p>
自治会員B ・新規就農について	<p>今新規就農で結構前から入っているんですけど、新規就農で定着する確率って、どの程度なんだろうか。新規就農して定着する確率ですね。</p>
水谷産業建設部長	<p>新規就農に関しては、うちの町で取り組んでいるところについては、研修生の受入れとなっております。主に、静内のハウス団地でやっている、ミニトマトの関係や三石については実験センターで行っている花卉の関係、デルフィニウムなどの花の関係の研修生を受入れております。 また、農家さんの方にも研修に行って、年に1名とか、あとミニトマトについてはご夫婦で3組などと、毎年そういった形で受入れをして、就農をしているような状況。</p>
自治会員B	<p>そう。いや、どの程度留まるのかということ。</p>
水谷産業建設部長	<p>就農率については、90%以上就農していただけるような状況になっております。</p>
自治会員B	<p>何年ぐらいで就農が固まったなと思ってる訳ですか。例えば10年ぐらい働いたらこの人はずっとやっていけるとか、そういう判断はどういうふうにしているんですか。やめていく方も結構いるんだよね。その問題点というのはどういうところなんでしょうか。新規就農の人がやめていく問題点。</p>
水谷産業建設部長	<p>定着率90%と言いましたけれども、残りの10%については、いろんなことが考えられます。施設整備だとか費用もかかっていますので、収穫した作物が予定より少なくなったり、あと返済ができなくなったりなど、様々な理由があって、離農していくというようなことです。問題点については、やめていく方々の検証もしながら、</p>

自治会員B	<p>そういったところも課題の一つとして、今後取り組むという事で進めております。わかりました。</p>
<p>閉会挨拶 大野町長</p>	<p>みなさんありがとうございました。いろんな視点からご意見を賜ったというふうに思っています。1番最初の延出小学校の使い方のところは、雨が降ったらご心配でしょうから、そこは早急にやらさせていただきますし、また是非、我々の防災グループの職員おりますので、その者呼んで何か困ったことがあったり、この地区でどう考えたらいいんだという会議に出席させていただければというふうに思っております。</p> <p>自治会員Aさんから、お答えは要らないけども、何とか昔からある農地を残して欲しいという願いがございました。私も残したいと思っておりますけども、この畑地化の問題は、水田転作が昭和40年代後半から始まって、それが皆さんの経営の中で、収入の大きな部分を占めていたというのは事実な訳で、それが制度として無くなるということになると、家計といいますかね、自分の生活が大きく変わるということになるので、就農を続けていけるかどうかは大きな問題だと思います。</p> <p>そういう中で抜本的に耕作放棄地を出さないで、どうやっていくかっていう、抜本的な答えというのは無いんですけども、僕が望むのは、やはり各農事組合ですとか、そういう地域単位で、ここの農地をどうやって使っていこうか、新たなものを入れるのかどうかということを、我々行政と、農協さんも入りながら、もう1回、構築していく必要があるんだろうと思います。</p> <p>この地域、例えば畑作で申しますと、小麦ですとか、バレイショですとか、てん菜ですとか、大豆にしてもそうですけども、そういうものを作っている地域ではないんですよ。それを新たに入れるとすればかなりの投資にもなりますから、簡単なことではないんですけども、やはりそういうものを地域としてどうやっていくかということを考えていく必要があるんだろうと。</p> <p>また、軽種馬の経営が今いい訳ですけども、拡大にも限度があると思っておりますので、やっぱり地域としてどういう農業を、どういう姿に向かっているのかということ、我々行政と農協と一緒に皆さんと考えていくことが必要だというふうに思っています。</p> <p>また何か機会がありましたら、お知恵を拝借できればと思います。ちょっと最後の締め長くなりましたけれども、また何かありましたらいつでも呼んでいただければ、担当職員、飛んで参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。</p>
閉会	19:27 終了